

事務事業名		妊産婦医療費助成事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業							
政策体系	政策名	0:4: 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間		予算科目							
	施策名	1:5: 子育て支援の推進				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和48 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 ↓ 全体計画欄の総投入量を記入	会計	款	項	目	事業		
	基本事業名	0:1: こどもの心身の健やかな成長支援		01	03		02	03	01				
根拠法令	妊産婦医療費給付条例及び施行規則												
所属	部課名	生活福祉部国保年金課											
	係名	医療給付係	電話	0192-27-3111									
			内線	142									
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ)							
妊娠5ヶ月から出産翌月までの妊産婦の医療費を助成する事業(妊産婦本人と保護者の所得制限あり)。受給者が支払った医療費の自己負担分を2ヶ月後に償還する。 なお、1医療機関につき入院1ヶ月5,000円、外来1ヶ月1,500円の自己負担あり。ただし、妊産婦本人と保護者が非課税の場合は自己負担なし。 県の事業である妊産婦医療費助成事業に準じて助成している。 主な事業内容は次のとおり。 妊産婦本人と保護者の所得を審査し、受給者を決定する。(または却下する) 受給者から出された医療費助成申請の内容を審査し、医療費を償還する。 受給者に毎月、医療費の給付内容を通知する。 その他受給者の住所・加入保険等の変更に係る事務。 事業費は主に医療費の償還分として支出される。						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金					
							財源内訳	都道府県支出金					
								地方債					
								その他					
								一般財源					
人件費	事業費計(A)		0										
	正規職員従事人数												
	延べ業務時間												
	人件費計(B)		0										
	トータルコスト(A)+(B)		0										

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
受給者証交付申請があったものを全て審査し、受給者を決定または却下した。医療費助成申請があったものを全て審査し、医療費を給付した。10月に電算システムの更新を行った。		ア	受給者審査数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
前年度同様の処理となる。		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・妊娠5ヶ月から出産月翌月までの妊産婦(本人と保護者の所得制限あり)		名称	
・医療費(1医療機関毎、外来1,500円、入院5,000円を越えるもの・非課税世帯は全額)		単位	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		カ	受給者数
医療費を助成し経済的負担の軽減を図ることで妊産婦が安心して医療を受けられるようにする。		キ	医療費給付額
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		ク	
疾病を予防し、早期治療が受けられる。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		サ	一人当たり医療費給付額
		シ	医療費給付額/医療費申請額
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(目標)	22年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円	4,815	4,358	2,979	2,476	4,500
		地方債	千円					
		その他	千円	1,436	0	0	0	0
		一般財源	千円	3,912	4,347	3,648	2,786	4,500
		事業費計(A)	千円	10,163	8,705	6,627	5,262	9,000
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	600	600	600	500	500
		人件費計(B)	千円	2,400	2,400	2,400	2,000	2,000
		トータルコスト(A)+(B)	千円	12,563	11,105	9,027	7,262	11,000
活動指標	ア	人	149	140	141	128	140	
	イ							
	ウ							
対象指標	カ	人	149	140	141	128	140	
	キ	千円	10163	8705	6627	5262	9000	
	ク							
成果指標	サ	円	68208	62178	47000	41109	64285	
	シ	%	100	100	100	100	100	
	ス							

事務事業ID	0126	事務事業名	妊産婦医療費助成事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 昭和48年、県単独医療費助成事業の開始に伴い実施。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 当初は、県の助成制度に併せ、現物給付の方法をとっていたが、所得制限の緩和とともに平成7年8月より償還払いと変更となったほか、平成16年10月からは受給者負担が導入された。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 医療費の給付方法の変更(医療機関等で一旦支払い、後日償還するのではなく、最初から支払わずに済む現物給付にして欲しい) 所得制限の撤廃による対象者の拡大 受給者負担(1医療機関につき入院1ヶ月5,000円、外来1ヶ月1,500円)の解消、 といった要望が受給者や議会などから寄せられている。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] → <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] → 助成によって妊産婦の出産前後の医療費負担を軽減することにより、子育て支援に寄与する。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] → <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] → 少子化が猛スピードで進行する中、安心して子育てができる環境が求められているが、この事業は、妊娠から産後までの経済的負担を軽減できる妥当な事業である。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] → <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] → 所得制限の緩和・撤廃、さらなる支援の余地はあるものの、県の助成制度に準じており、現段階では妥当である。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] → <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] → 書類の整った受給者証交付申請を随時、給付申請をその月内に100%処理しており、向上の余地はない。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] → <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] → 妊娠・産後の経済的負担が重くなり、治療を控え、疾病の早期発見ができないことが考えられる。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある → (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] → <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] → 医療費そのものを助成する制度はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] →	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] → <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] → 事業費削減は、妊産婦の経済的負担の増加に直結し、健康保持への悪影響が懸念される。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] → <input type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] → 10月に電算システムの更新を行ったことにより、更新前に比べて、受給者の認定や医療費給付に要する業務時間の短縮が図られた。 18年から雑務や窓口対応等を臨時雇用職員がカバーして残業を少なくしており、人件費については、個人情報保護の観点からこれ以上の削減は難しい。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] → <input type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] → 県の制度と同じ所得制限を導入しているため、妊産婦本人及び保護者の所得が一定額以上の場合は助成されないが、市単独で所得制限の撤廃や緩和を行うことで対象者の拡大が可能である。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映

事務事業ID	0126	事務事業名	妊産婦医療費助成事業
--------	------	-------	------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>受給者の認定や医療費の給付などの業務を適切に行うことができた。また、10月に行ったシステム更新により、受給者の認定や医療費給付に要する業務時間の短縮が図られ、効率性改善につながった。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>市独自で所得制限の撤廃や緩和を行った場合、受給対象者を拡大でき、公平性の改善につながるが、事業費の増加が避けられない。こうしたことから、県や県内他自治体の動向について情報収集するとともに、当市で行っている他の医療費助成事業(重度心身障害者医療費助成事業など)とも調整しながら、改善方法を検討・協議していく。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者を拡大した場合に必要な事業費をどのように確保するか 当市で行っている他の医療費助成制度との調整 																						

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	国保年金課長	
-------	--------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>本事業は、妊産婦の医療費が所得の低い人ほど負担が増大することから、その負担軽減のため実施するものであり、所得制限導入は公平性の面でも適切である。</p>																																	
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																
		コスト																																
		削減	維持	増加																														
成果	向上																																	
	維持			×																														
	低下		×	×																														
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>県の助成制度の基準に沿って実施しており、現状維持とする。</p>																																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
